

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ

世界の窓

Vol.99
サマーファッション

世界の国々や文化を紹介するワールズ・ウィンドウ、案内役は国際交流員リサアン・カワチさんとエイミー・タッペンデンさんです。

皆さん、こんにちは、エイミーです！わたしはファッションが大好きです。そこで今月はニュージーランドと日本の夏のファッションについて書かせていただきます。

8月に入り真夏日が続く、とうとう夏がやってきましたね！日本の夏はニュージーランド（特に私の故郷のクライストチャーチ）と比べるととても恐ろしいです。暑さだけではなく、湿度も高いので過ごしにくい日が続きます。クライストチャーチは南島にあるので暑くなる日はありますが、湿度は低く気温はたいてい25℃を超えません。夏の間は海側からの東風が一番多く吹きます。ほぼ毎日吹くこの風は冷たく、25℃だったはずの気温を20℃以下に感じさせることもあります。

このため、夏だからこそできるはずのサマーファッションを楽しむことができなくなります。このよ



△夏のクライストチャーチ

うな天候や風の理由でクライストチャーチのサマーファッションは日本とはかなり異なります。

私が実際に経験した日本の夏は、ものすごい暑さで「今年の夏は恐ろしい！」と感じる時もありますが、ファッションに関しては、日本はサマーファッションを満喫するには絶好の場所だと思います。プレーンのシャツやトップスにハイウェイストの今季流行の花柄のショートパンツやミニスカート、またはゆったりとした長めのパンツなどを組み合わせたコーディネートもあります。足元には可愛いパンプスを合わせたり、もっとカジュアル系にしたい時は派手な夏色のビーチサンダルを合わせたりするのもいいかと思えます。夜まで同じ格好をしていても寒くならないのが本当に便利でクライストチャーチではありえないことです。

クライストチャーチでは夏でもTシャツ1枚だけで過ごすのは無理です。天候や風が変わりやすいため、必ず薄いカーディガンを持って行きます。また、ショートパンツではなくデニムのジーンズを履いて寒さ対策をしています。夏にレザーブーツなどを履いても汗をかくことはありません。

2009年の夏のある日、わたしは友人と街に出かけました。クライストチャーチは真夏に入ったばかりでしたが、驚くことにその日の天候は真冬のように、気温はわずか9℃しかありません。



△キャップとリュックでカジュアルなファッションに

せんでした。わたしはレザーブーツに厚いタイツ、暖かい素材のキャミソールの上には長袖のウールの黒いドレスとウールのミリタリー風ジャケットを着ていました。頭も寒く感じたのでオールドマンハットを合わせて友人と出かけたのを覚えています。街のスターバックスへコーヒーを飲みに行ったところ、店内ではガス暖炉が焚かれていて、お客さんは全員温かい飲み物を注文していました。

日本ではニュージーランドと違って、真夏に冬のような天候に変化することはまずありえないと思います。天候が変化しない日本はファッションにとっては良い場所だと思います。この暑さをもっと楽しく過ごしたいと思っている方は、まず自分のファッションスタイルから楽しんでみましょう！わたしもちろん暑さに「恐ろしい！」と思う日がありますが、夏限定のファッションや、今だから着られるかわいいスタイルをして、夏とこの暑さを満喫できるように一緒に頑張りましょう。



△花柄のミニスカートを組み合わせたコーディネート

広報文芸

川柳

（川柳鶴田吟社七月例会より）

東にされ強気になったバラの花

成田あき子

ラムネ玉すかつと夏の陽差し浴び

工藤りん子

自転車に乗れた日父の手は遠く

佐藤潮

その笑顔子供はいつも一〇〇ワット

笠嶋やすお

干支のへび子が捕まえ母気を乱す

笹森松三

苦心作波がさらった砂の城

寺田与作

夕陽がきれいで又も雨がなし

奈良二郎

無我夢中三十八度線を越えた過去

竹浪むさし

暗闇の影に明るい母がいる

佐藤倫生

ねぶた師が夜空に鬼を描いていた

菊地志樹

散り際で夢を見ている枯れススキ

工藤まさひろ

鶴田短歌会・七月作品

新聞のおばちゃんと呼び幼児は小さき手にて新聞受くる

葛西智恵

風もなく漂へきたる緑の香初夏の庭木息吹く露草

柿崎三雄

カーテンを開けると涼しい野菜園

山谷春花

あけぼのにりんごの花の白き映えアスファルトの歩道に散りしく

清水宏子

戸を開けて外に出づたる家猫が帰って来てもごり寝ころぶ

澤田清作

あれやろうこれもやりたいたい残された時間果つ迄夢を捨てずに

柴田節子

晴天に洗濯物を干したれば空の青さに心地よきこと

藤田トシエ

今からでも出来そうなことひねくれた心の入れ替え七十七歳

棟方文雄

形見なる母の紗の帯あじさいの季節先取りわが背に咲く

佐々木りえ

しわくしやの千円紙幣のつり銭は人より人への果てなき旅か

伊藤惣一郎

たらの芽文芸クラブ・六月作品

ようじちゃんのめんどろみでよたのまれたそのときつてもうれしかったよ

佐藤瑤子

速すぎて願いが言えない流れ星

一戸美花

